

金沢市女性活躍加速化プロジェクト

5月18日(金)に女性活躍推進「業界取組宣言式」を実施(3業界団体)

金沢市では「金沢市女性活躍加速化プロジェクト事業」により、業界団体の課題に応じた女性の活躍推進、多様な人材活用等、男性・女性がともに働きやすい就労環境づくりのための連続セミナーを開催しています。

新たに3業界が、女性活躍等における自らの業界の課題、改善策を検討し、業界一丸となって取り組むべき具体的な方策を取りまとめ、『業界取組宣言』を行いました。

今後も、他業界団体への機運の波及や取組拡大につながっていくことを期待しています。



- 一般社団法人 金沢建設業協会
- 協同組合 兼六園観光協会
- 北陸所長会 (北陸三県医薬品製造業所長会)

日本女性会議 2018 in 金沢

金沢大会が10月に開催されます



- 主催** 日本女性会議 2018 in 金沢実行委員会・金沢市
- 会場** 金沢歌劇座ほか
- 参加費** 3,500円(交流会参加の場合は別途5,000円)
※参加には事前申し込みが必要です。
(受付予定:平成30年6月中旬~8月)
※詳細は「日本女性会議2018in金沢」HPをご覧ください

10/12(金)	10/13(土)	10/14(日)
13:00~ 開会式	9:30~ 記念講演	エクスカージョン (希望者のみ)
基調報告	シンポジウム	
分科会(17:00終了)	閉会式(16:00終了)	
交流会(希望者のみ)		

男女共同参画出前講座

男女共同参画に関するテーマで講座等を実施する際に、講師や男女共同参画アドバイザーを派遣します。講師謝礼は金沢市が負担します。※人選は金沢市にお任せください

【講座のメニュー例】(ご相談に応じます)

- ◆地域で女性が輝くために
- ◆快適な場づくり~セクハラ・パワハラを起こさない~
- ◆思いが伝わるコミュニケーション(地域編、家庭編)
- ◆娘や孫に伝えたい「女性のための護身術」
- ◆自分らしくワーク・ライフ・バランス
- ◆紙芝居で学ぼう「男女共同参画」とは?(介護編、子育て編)



- 対象** 金沢市内に所在し、活動する企業、団体、グループ等
- 会場** 申込み団体でご用意ください。原則として金沢市内。
- 実施回数** 1団体3回まで。1回の受講者は、概ね15人以上。

金沢市女性センター

金沢市男女共同参画推進の拠点施設です

【事業内容】

女性のエンパワーメント事業

女性が「自分らしく生きる」素晴らしさと出会い、充実した毎日を過ごせるよう、男女共同参画の視点で生活に密着した各種講座を実施しています。

貸館事業

女性の自主的な活動の場としての利用に提供しています。詳細はお問い合わせください。



お問い合わせ

金沢市女性センター
〒920-0861 金沢市三社町1番44号(金沢駅より徒歩12分)
TEL 076-223-1265 FAX 076-223-6299

女性相談支援室 月~金 9:00~17:00

夫婦問題、離婚などの不安や悩みの相談
配偶者や交際相手からの暴力などの不安や悩みの相談
生活、その他女性の身上相談

問:金沢市女性相談支援室
TEL 076-220-2429 FAX 076-260-1178

女性相談専用電話 076-220-2554
秘密は堅く守られます。

特別相談 女性弁護士による法律相談 毎月第1火曜午後、第3金曜午後
要事前予約 臨床心理士による心の相談 毎月第2木曜午前
カウンセリング 毎週木曜

金沢市男女共同参画都市宣言 平成25年12月16日 金沢市議会議決

私たちのまち金沢は、市民一人ひとりが、歴史と伝統に学び、個性豊かな風格と活力のあるまちづくりを進めてきた。すべての人が性別にかかわらず尊重される社会の実現のためには、市民一人ひとりが互いの違いを認め、あらゆる分野に平等な立場で参画する機会が確保されるとともに、国際社会における取り組みと協調し、連携を深めていくことが重要である。よって、私たちすべての市民は、次代を生きる若者や子供たちが個性と能力を発揮できる未来とするため、男女共同参画都市となることを宣言する。



ささえあって 輝いて あなたもわたしも未来へ向かって

るうぷ。

今号の特集

女性×まちづくりで
より暮らしやすい金沢に

金沢市
男女共同参画広報誌
2018
VOL.40

お問い合わせはこちらまで

金沢市人権女性政策推進課
076-220-2095

女性×まちづくりで より暮らしやすい金沢に

金沢市は、地域コミュニティの醸成と充実を図り、金沢を将来に渡り地域住民が誇りと愛着をもって暮らすことができるまち、思いやりの心があふれるまちとしていくため、平成29年3月に「金沢市地域コミュニティ活性化推進条例（略称）」を制定しました。

よりよい地域づくり実現のためには、男性だけでなく女性の視点・取り組みが必要です。現在、地域づくりのさまざまな分野で活躍中の女性を紹介します。



防災



防災士
横浜 恵さん

みんなが安心と安全を享受できるよう

校下で女性会に所属していた4年前に、先輩防災士にすすめられて、資格を取得しました。看護師として仕事をしてきて、子どもも成長し、地域社会に貢献したいと思っていたときでしたので、よいタイミングだったと思います。

最近の活動としては、町会防災訓練の中でのAED教室や「災害と食」講演などをおこないました。防災訓練という目的のみだと参加してくれる人が限られるので、地域のレクリエーションなどとタイアップして、市民目線で楽しめる形での開催を心がけています。

防災教室では、防災士が女性だから質問しやすいという利点があるようです。AEDを使う際に、「着物だったらどうする」「ネックレスはどうする」等の質問が出ますし、私からも「AED使用後は布をかけてあげてほしい」、「プライバシーを守るため人垣を作ってあげてほしい」など細かい配慮のヒントを伝えることもできます。

防災の分野は始まったばかりで、研修で新しいことを学んできても、地域にくまなく伝えるのは決して簡単ではありません。ひとつの校下内でも、住んでいる場所によって課題となる災害は違います。年齢や立場によってもニーズが異なります。

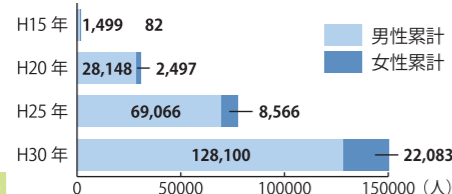
しかし、女性防災士の数は着実に増えてきており、私が所属する校下では、18名の防災士のうち女性が6名になりました。女性の持つ優しさ、細やかさ、明るさ、たくましさを活かし、仲間を増やして、みんなで協力しながら、地域に安心と安全を届けられるようお手伝いをしていきたいと思えます。



防災ミニデータ

全国の防災士認証登録者の推移

特定非営利活動法人
日本防災士機構 HP 出典



自治会



金沢市公民館連合会 副会長
野路 治子さん

地域のために動ける人なら誰でも歓迎

西公民館の館長になって今年で5年目です。従来は、町会長や公民館長というと地元の名士になるものでした。公民館長就任が決まったとき「普通のおばちゃんになっていいものなん？」と友達に言われ、「そやねえ」と一緒に笑ったものです。

私はこの地区の出身ではありません。今の場所に越してきた際、私が地域役員の経験があることを知った方から「前もやっていたならお願いできない？」という申し出をされ、あれこれ引き受けているうちに、このポジションになっていました。

実際に館長になって分かったのは、男も女も関係ないということ。下の組織がきちんとしている限り、上に立つ人間は誰でも大丈夫。館長だから偉いとか、常に率先して動かなくてはいけないということもありません。「お願いします」と周囲にゆだねることで、たいていうまく回ります。女性であることのデメリットはないですね。逆に女性であることの利点は、「こんないいんじゃない」などの意見が上がってきやすいこと。女性だから言いやすいのでしょうか。「それはダメ」とちゃんとしてくれる人もいます。ありがたいですね。

町会や公民館はいまだに男の社会と思われています。でも本来は、地元の名士だからとか昔からの住民だからとかではなく、地域のために思っただけかどうかだけ。老若男女誰でも大丈夫。住んでいる長さも関係ありませんよ。今後は若い世代の地域参画を増やすのが課題。家事や育児をする男性が増えているので、女性も参画しやすくなるでしょう。期待しています。



学生



金沢まちづくり学生会議 代表
末井 共慧さん

まちづくりを通して金沢をもっと好きに

金沢まちづくり学生会議では、金沢市内とその近郊の大学の学生たちが集まっています。私は、大学1年生の春に、新入生を対象とした金沢を知るイベント「Open City in KANAZAWA」に参加したことをきっかけに、学生会議に関わるようになりました。

生まれも育ちも金沢なのですが、活動を通して、市内の新しいお店を発見できたり、地域の方たちと深く関わったりと、今しかできない経験をたくさんさせてもらっています。

今年度は新規企画として、高校生10名と学生会議メンバーで、まちなかに人を呼び込むことを目的とした商品開発もしくはイベントをする予定です。

学生会議に参加していなかったら、大学と自宅の往復だけの毎日だったかもしれません。でもこのように地域と関わることで、私は金沢のまちがもっと好きになりました。専攻が建築デザインということもあり、人と人がつながるまちづくりと、建築面でのまちづくりの両方から勉強することもできています。

今春大学3年生になり、代表に就任しました。初めてのリーダー経験で緊張もあります。周りの助けを借りながら、メンバーみんなで金沢のまちを盛り上げていきたいと思っています。



専門家からのコメント



坂本 二郎氏
金沢市男女共同参画審議会委員
金沢大学 新学術創成研究機構 教授

自治会や防災の分野において女性の姿が表に出てきたことが印象的です。従来から多くの女性が地域活動に関わってきましたが、裏方として働くケースがほとんどでした。表に出てリーダーシップを取る女性が増えることで、「私にもできるかも」と感じる方も増えるでしょう。それによって地域全体の状況も少しずつ変わっていくのではないかと感じています。

子育て

NPO 法人 子育て支援 さくらっこ 理事
脇坂 澄恵さん



地域に子育て中のお母さんの居場所を

さくらっこでは、未就園児のママが育児に煮詰まらないように、今しかない親子の時間を大切に過ごせるように、託児サービスや遊び場の提供、親子イベントの開催などをおこなっています。



<金沢 21 世紀美術館キッズスタジオ>

私自身、かつて県外で乳幼児の子育てをしていたとき、周りに頼れるところもなく、子どもとの時間をやり過ごすのが精一杯という毎日を過ごしていました。そんな経験から、困っている誰かの助けをしたいと思います。さくらっこの支援活動に参加して8年になります。

この活動をしていて楽しいのは、いろいろな子どもやお母さんたちと知り合えること。タイプは違えど、本当にみない子たちです。お母さんたちの意識もとても高くなってます。子育て親子がつながり合えば、共感、共有ができる。子育て親子を応援できる空間でありたいと思っています。

一方で、少し気がかりなのは若い世代が、情報をスマホに頼りすぎていること。身近な祖父母ではなく、ネットに正解を求めることで、逆に心が閉鎖的になっている気がします。以前に比べ、地域の遊び場開放は増えています。お母さんたちは、ネット情報や特定の支援に頼り過ぎないで、ぜひ地域に溶け込んでほしい。そして地域も、若いお母さんたちを暖かく包み込んでほしい。みんなで話し合い、支え合える場所がもっと増えたらいいですね。

金沢市の女性の活躍や働き方に関するホームページができました！

かなざわ輝く女性ポータルサイト



<http://kanazawa-kirakira-woman.com>

男性も女性も
活躍できる職場環境を
みんなで考えよう！



自治会ミニデータ

平成29年度金沢市において自治会長の占める女性の割合

金沢市調べ

